

## 特集

# 子どもの学力向上は 規律ある生活習慣から...

～子供土曜塾の開設から考える



↑順番に並んで先生に解答を見てもらいます。クルクルと大きな花丸が付きましました。「さあ、次の問題に進みますよ!」。この日は本村小学校の飯島校長先生などが見守る中、小学2年生から4年生までの児童34人が参加しました。採点してもらった時に、身を乗り出して指導者の話を聞く児童の姿がありました(5月17日の土曜日に同校で実施された子供土曜塾の様子)。

小学5年生(高学年)は、小学校で学ぶ学習の総仕上げに向けての大切な時期になります。市では、『小学5年生に課題がある』とい

子どもたちの学力の定着状況を把握するため、全国の公立学校では「学力調査」が行われています。国が実施している「全国学力学習状況調査」(以下、全国学力調査と表記)(対象は小学6年生と中学3年生、毎年4月に実施)、東京都が実施している「児童・生徒の学力向上を図るため

の調査」(以下、都の調査と表記)(対象は都内公立学校の小学5年生と中学2年生、毎年7月に実施)、さらに、本市では「確かな学力の伸長を図るための調査」(以下、市の調査と表記)(対象は小学5年生と中学1・3年生、毎年4月に実施)を独自で実施しています。本市の場合、いずれの調査においても、小学5年生の「算数」に課題があることが分かりました。昨年度に実施した市の調査(図1参照)では、全国平均と比べて2・8ポイント下回っており(関連記事は平成26年1月7日号3面)、また、昨年度の都の調査(図2参照)によると、目標値に達しない児童の割合は、東京都と比較してやや高く、正答数が少ないほうにやや多く分布していることが分かりました。

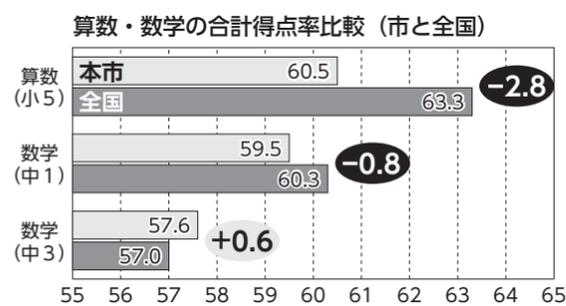
学力調査の結果から  
見えてきた課題

なぜ、子供土曜塾が始まったの?

土曜日に授業を行う公立学校が増えています。新聞社の調査によると、その主な目的には「授業時数を確保する」「学力向上を図る」ことが挙げられています。本市では、25年度から「東久留米市子供土曜塾」を開設し、市立本村小学校において、同校に通う小学1年生から4年生までの児童を対象に、算数の基礎・基本を学ぶことを目的として、3回開講しました(参加費用は無料)。今年度は、第一小学校と本村小学校の2校が実施します。今号では「子供土曜塾」を紹介しながら、子どもの学力について考えたいと思います(子供土曜塾・学力調査等の関係は指導室 ☎470・7781へ)。

※「子供土曜塾」は「子供」と表記しています。

図1 市教育委員会による平成25年度の調査結果と全国との比較 ※算数を抜粋



本村小学校の当時の校長でもあり、現在、第一小学校の校長で、26年度も「子供土曜塾」を実施する、岩清水校長に、「子供土曜塾」に向けた思いを伺いました。

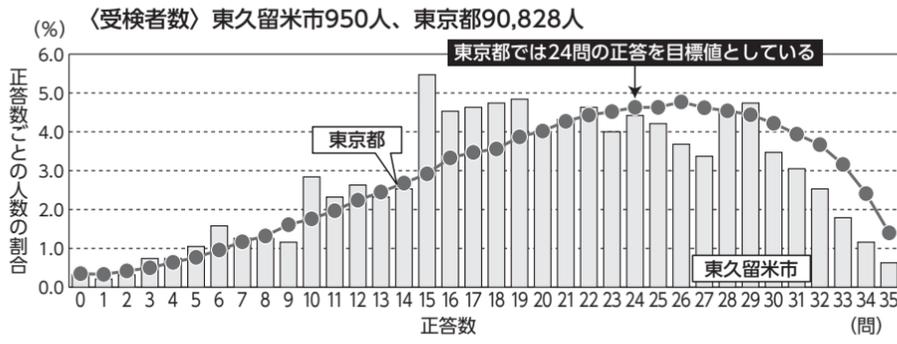
特徴は、全員が1年生の問題から始め全問正解した後に進むこと、解答用紙と進捗表は指導者が保管して学校に引き継ぎ、日常の授業や家庭学習につなげていくこと、教科書の基礎的な内容の完全理解を目指すことで自信をもたせることにあります。

「25年」12月14日(土)に『東久留米市子供土曜塾』が本村小学校を会場に、本校の子どもたちを対象に開催されました。本校では今年度、『東久留米市学力向上教育推進モデル校』として



岩清水校長先生

図2 東京都教育委員会による平成25年度の調査結果・算数の正答数分布



※1面の図1・図2、2ページの図3はいずれも文字の大きさ等を紙面用に編集しています。

「子供土曜塾」は25年度の実績を踏まえ、26年度にはさらに内容を広げていきます。実施校を「市学力向上教育推進モデル校」である第一小学校と本村小学校とし、指導者についても、子どもたちの指導に十分当たるよう、社団法人市シルバー人材センターの会員を1回当たり10人に増やします。27年度には小学校13校の実施を目指し、より一層事業の充実を目指すことを予定しています。

人は、幾つになっても褒められると嬉(うれ)しいもので、次もがんばろう! という気持ちになります。褒めること、励ますことを大切にしながら、児童の学習意欲を向上させていくことは、児童が主体的に学び、確かな学力を定着させることにつながります。

「本気でやる気」をお願いします。

「子供土曜塾」は25年度の実績を踏まえ、26年度にはさらに内容を広げていきます。実施校を「市学力向上教育推進モデル校」である第一小学校と本村小学校とし、指導者についても、子どもたちの指導に十分当たるよう、社団法人市シルバー人材センターの会員を1回当たり10人に増やします。27年度には小学校13校の実施を目指し、より一層事業の充実を目指すことを予定しています。

子供土曜塾  
きっかけの一つ!

参加した児童は楽しみながら勉強を進め、さらにステップアップしようという気持ちを抱きます。『本気でやる気』を言葉に学力の向上を目指す子供土曜塾の取り組みは、児童の主体的な学びを引き出し、確かな学力の定着を図るのに有効な事業です。

満点は「花丸」です。間違えたら花丸をもらうまで何度も挑戦します。つまづきを完全に理解してから次に進むので、定着が確かなものになります。ここで挑戦したプリントは、翌週、学級担任から返され、そこでも、さらに褒められ励まされます。